

◇—————<(_)> ◆◆ 謹 賀 新 年 ◆◆ <(_)>—————◇

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 1. 5

下水道機構の『新技術情報』 第171号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇—————◇

新年明けましておめでとうございます@^i^@ Me-! 年末年始は、いかがお過ごしでしたか？久々に実家のある沖縄で年越しを迎えましたが、やはり沖縄は暖かかったです。本年も皆様のお役にたてるメルマガの配信に努めますので、皆様どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

それでは2015年初の機構メールマガジン『新技術情報』第171号をお届けします。業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・新年のごあいさつ (専務理事 江藤隆)

■機構の動き

- ・今週は、1/8(木)に技術サロンを開催します！

ゲスト：秦野市政策部公共施設再配置推進課長 志村高史 氏

テーマ：「秦野市の公共施設更新問題への挑戦－未来につなぐ市民力と職員力のたすき－」

■Tea Break

- ・おせち料理 (資源循環研究部 T・Oさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今週は、機構職員の海外出張の様子をお届けします

さてどこの国へ行ったのでしょうか？ ヒント：微笑みの国

■国からの情報

- ・12/24付下水道ホットインフォメーション

—————。○○。

インフォメーション (最新の話題です)

○○。—————

●新年のごあいさつ （専務理事 江藤隆）

今年、最初のメルマガとなります。昨年中はメルマガをご愛読頂き有り難うございました。今年も宜しく願いいたします。

今年は「ひつじ」年です。今年一年が、ひつじのように穏やかで、災害や事故の少ない一年に成ることを願っています。

また、メルマガをご愛読いただいている皆様にとりましても、今年一年が良い年になりますようにお祈しております。

下水道事業も「ヒト」と「カネ」の制約が厳しくなる中で、自然災害の多発や「モノ」の老朽化など、大変困難な時代を迎えています。

それらの困難を乗り越え、下水道事業を持続可能なものとしていくためには、関係者が将来の目標や方向性を共有し、経営と事業、事業と制度・技術、技術のニーズとシーズなどを繋げ、力を合わせて取り組んでいくことが必要ではないかと思えます。

下水道機構は、大学、国や公共団体、民間企業の間を繋ぎ、「橋渡し」することにより、下水道事業の課題解決に貢献していきたいと考えています。

引き続き、下水道機構に対する皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

。○○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○○。

○平成 26 年 1 月 8 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 333 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：秦野市政策部公共施設再配置推進課長 志村高史 氏

テーマ：秦野市の公共施設更新問題への挑戦

ー未来につなぐ市民力と職員力のたすきー

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●おせち料理 （資源循環研究部 T・Oさんからの投稿です）

新年あけましておめでとうございます。

年末年始の休み、皆様どのようにお過ごしになられましたか？

私は実家に帰省し、おせち料理を堪能したり初詣に行ったりして、有意義に過ごせました。おせち料理について、我が家は毎年祖母の家に行って親戚と食べるのが恒例となっております。おせち料理の中身について、地域によって特徴が様々みたいですね。我が家は、祖母の家が「丹波・篠山」ということもあり、黒豆が特徴です。

丹波・篠山は粘土質の土壌と寒暖の差が激しい盆地特有の気候条件ということで粒

各委員からは、事業管理計画の推進、ICTを活用した見える化の推進、国民理解促進のためのインフラツーリズムの推進等の意見が述べられました。資料等は下記の国土交通省のHPにて公表します。

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s202_kasen01.html

●「下水熱利用によるエコづくりワークショップ」の参加者募集について【国土交通省】

国土交通省では、都市内に豊富に存在する再生可能エネルギー熱である下水熱の利用推進のため、下水熱利用の導入事例や事業採算性の試算等の情報提供及び意見交換を行う「下水熱利用のエコづくりワークショップ」を下記のとおり開催し、参加者を募集します。

<大阪会場>平成27年1月20日(火)14:00開始 トラストシティ カンファレンス・新大阪 room1(第I部), room3(第II部)

<浦安会場>平成27年1月22日(木)14:30開始 浦安市民プラザWave101 大ホール

<豊田会場>平成27年1月16日(金)14:30開始 ホテルトヨタキャッスル 華の間(協力:豊田市)

参加申し込みは以下まで

<大阪会場>または<浦安会場>へご参加を希望される方

事務局の株式会社三菱総合研究所(本ワークショップ運営の受託者)のホームページからお申し込みください。

<http://www.mri.co.jp/wwheat-ws/>

<豊田会場>へご参加を希望される方

「とよた世界環境ウィーク2015」の事務局である豊田市(以下の連絡先)のホームページからお申し込みください。

http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ca00/ca07/1274755_7208.html

詳細はこちら。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000262.html

=====

◆汚泥焼却灰 試験埋め立て<12/20 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/kanagawa/news/20141219-0YTNT50369.html>

◆城下から安心注ぐ 大手前配水池(未来への百景)<12/16 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXLASHC06H4H_X01C14A2AA1P00/

◆東芝ら、沖縄で初の官民連携による消化ガス発電事業<12/16 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXMZ080921140V11C14A2000000/>

◆被災地の断水、全て解消 急ピッチで復旧進む 長野<12/17 産経ニュース>

<http://www.sankei.com/region/news/141217/rgn1412170029-n1.html>

◆「どこでも震度6強が起りうる」発生時に適切な行動を 淡路島で防災講演会<12/17 産経新聞>

<http://www.sankei.com/region/news/141212/rgn1412120053-n1.htm>

◆汚泥ガスの発電事業で官民連携 県と5社が基本協定〈12/14 琉球新報〉

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-235855-storytopic-4.html>

◆暴風雪、北海道内で猛威 JR430本運休、根室では床上浸水〈12/17 北海道新聞〉

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/donai/580914.html>

◆道東中心に暴風雪 高潮で根室冠水〈12/17 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/hokkaido/news/20141217-0YTNT50055.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/>

○ニューズレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/seikai7.pdf>
